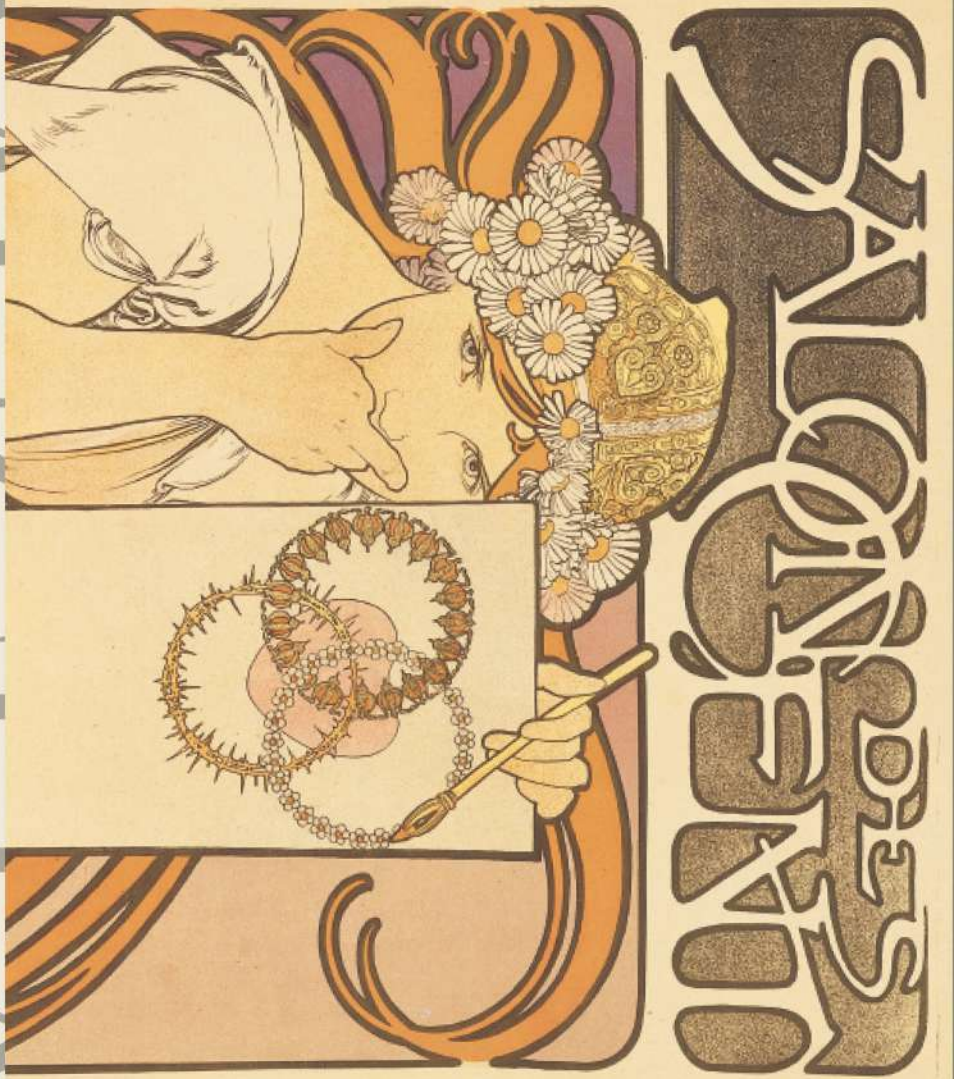




ロートレックとミュシャ
パリ時代の10年

Toulouse-Lautrec and Mucha Ten years in Paris

2022
10/15(土)

2023
-1/9(月・祝)



大阪中之島
美術館

NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

ALPHONSE MUCHA

ロートレック31歳、
ミュシャ35歳。
出会いの鍵は、
ボナパルト通り31番地。

ロートレックとミュシャ
パリ時代の10年



アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
《ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ》(第2ステート)》1891年



Special Chapter : Paris Map in 1900

1900年の
パリを散策する

ロートレック、ミュシャと
関わりのあるスポット
を示したパリ古地図を
紹介します！

《地下鉄、列車、電車の路線図を
含むパリの地図》1900年
資料提供：国立国会図書館

本展は、アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック(1864-1901年)とアルフォンス・ミュシャ(1860-1939年)が芸術の都パリで活躍した1891年から1900年までの10年間に焦点を当て、二人が共通して取り組んだ石版画ポスターを中心にご紹介するものです。

ロートレックは1891年に第1号ポスターとなる《ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ》を制作、その約3年後、ミュシャも第1号ポスター《ジスモンダ》を発表しました。これを機に、いずれも時代の寵児として活躍していきます。

二人とも第1号ポスターで脚光を浴びましたが、その活動拠点は、ロートレックがモンマルトル、ミュシャがモンパルナスとセーヌ川を挟んで隔たり異なっていました。本展では、アトリエ、印刷会社、クライアントなど作品制作をとりまく様々な点にも着目し「よき時代(ベル・エポック)」の双璧をなす二人のポスター作家の実像に迫ります。

また、わずか10年の内にこの世に送り出された宝物のようなロートレック作全ポスター作品31点を一堂に紹介すると共に、当館に寄託されているサントリーポスターコレクションならではのステート違いや試し刷りの段階のものも豊かに展示する極めて稀な機会です。どうぞお楽しみください。

本チラシに掲載の画像の作品は、全てサントリーポスターコレクション、大阪中之島美術館寄託です。
表紙上：アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《サロン・デ・サン 54号室の女性船客(第3ステート)》1895年
表紙下：アルフォンス・ミュシャ《サロン・デ・サン ミュシャ作品展》1897年

Chapter 1 : 1891年から1894年

《ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ》
発表から
《ジスモンダ》誕生まで

ロートレックは1891年10月、カフェ・コンセル(*)のためのポスター《ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ》を発表、高い評価を得て、これを機に石版画(リトグラフ)に打ち込んでいくことになります。同時期、挿絵画家として活動していたミュシャは、1894年のクリスマスシーズンに依頼を受け、劇場ポスター《ジスモンダ》を制作、大評判となりました。奇遇にも、二人とも第1号ポスターによって時代の寵児となったのです。

*カフェ・コンセルとは、19世紀末パリの歓楽街を特徴づけるダンスホール兼コンサートホールで、お酒や食事、観客同士の会話も楽しめる娯楽施設であり催事場のこと。



アルフォンス・ミュシャ《ジスモンダ》1894年



アルフォンス・ミュシャ
《サロン・デ・サン 第20回展》1896年

Chapter 2 : 1895年から1897年 「サロン・デ・サン」での競作

1895年から1897年までの間に、二人の出会いの最大の鍵となる文芸雑誌『ラ・プリム』が主催する美術ギャラリー「サロン・デ・サン」での展示が開催されています。この時代、ロートレックもミュシャも、様々なオファーにより石版画を制作、また多くの展覧会に出品するばかりでなく個展も開催するなど旺盛な活動を展開していきました。



アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《『彼女たち』(第4ステート)》1896年



アルフォンス・ミュシャ
《アメジスト(連作「四つの宝石」より)》
(ドローイング)1900年

Chapter 3 : 1898年から1900年

ロートレックの最後のポスター、
ミュシャはパリ時代のピークへ。

この頃から健康状態が悪化していったロートレックは、ドローイングに力を注ぐようになり、最後とされるポスター《学生たちの舞踏会》もドローイングで提案されました。一方ミュシャは、1900年開催のパリ万国博覧会でオーストリア館、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ館で大いに活躍します。この万博への貢献によって、フランツ・ヨーゼフ1世勲爵に任じられるという名誉を受けることになりました。



アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
《学生たちの舞踏会》
(文字の入れられていないステート)1900年

Chapter 4 : 1901年以降

ロートレックの死、ミュシャ装飾様式の成熟と完成



アルフォンス・ミュシャ《つた》1901年



アルフォンス・ミュシャ《月桂樹》1901年

1901年、ロートレックは36歳にして最愛の母の居住するマルロメの城で亡くなります。一方、万博を機に故郷チェコのために制作する決意を新たにしていたミュシャは、パリを離れアメリカへ、そしてチェコへと移っていきました。この頃パリ時代の集大成ともいえる『装飾資料集』(1902年)を発表、その装飾様式は見事なまでの成熟と完成を見せています。

Chapter 5

同時代のお酒のポスター

この時代、パリ市民の増加と歓楽街の隆盛、娯楽へのニーズの高まり、製造業の活発化などの諸要因により、お酒の製造販売が増え、そのためのポスターも数多く制作されました。ここでは、ピエール・ボナール《フランス・シャンパン》(1891年)をはじめとする同時代のお酒の石版画ポスターを紹介します。

AUDIO GUIDE



本展の音声
ガイドナビゲーター

パリ時代の
ロートレックと
ミュシャと同世代

俳優の
溝端淳平さんが
担当します！

溝端 淳平/JUNPEI MIZOBATA

1989年6月14日 和歌山県出身 2006年第19回ジュノン・スーパーボーイ・コンテストでグランプリを受賞。翌年にはドラマ『生徒諸君!』で俳優デビューを果たした。ドラマ、映画、舞台、CMなど、幅広く活動中。2023年放送開始大河ドラマ『どうする家康』に出演。

本展では、ご来場の全ての皆様に、
無料で音声ガイドをご利用いただけます。

お客様ご自身のスマートフォンもしくはタブレットでご利用いただけるガイドです。スマートフォンやタブレットをお持ちでない方には、会場にて、専用の音声ガイド機をお貸しいたします(※ガイド機はご用意数に限りがございます)。詳細は展覧会公式サイトにてご確認ください。



※ガイドのご利用には
データ通信が必要となります。

※データ通信費はお客様のご負担となります。
※本ガイドは、会場内でのみご利用が可能です。
※ご自身のイヤホン・ヘッドホンをご持参ください。
(会場でお貸出しはございません。)

音声ガイドサービスに関するお問い合わせ
(株)アコースティガイド・ジャパン
support@acoustiguide.co.jp



〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
TEL:06-4301-7285
大阪市総合コールセンター(なにわコール)
受付時間 8:00-21:00(年中無休)
<https://nakka-art.jp>



大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

INFORMATION

会期・会場

2022年10月15日(土)-2023年1月9日(月・祝)

開場時間:10:00-17:00(入場は16:30まで)

会場:4階展示室

主催:大阪中之島美術館、朝日新聞社

*月曜日(1/2、1/9は除く)、12/31(土)、1/1(日)休館

*災害などにより臨時休館となる場合があります。

観覧料(税込)

入場料 一般1,600円(1,400円) 高大生1,300円(1,100円)

*カッコ内は20名以上の団体料金。

*20名以上の団体鑑賞をご希望の場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。

*学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページの学校団体見学のご案内からお申し込みください。

*中学生以下は無料

*障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は当日料金の半額(要証明)。

*一般以外の料金でご利用される方は証明できるものを当日ご提示ください。

*本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。

*展示室内が混雑した場合は、入場を規制する場合があります。

*今後、地域の新型コロナウイルス感染状況などを踏まえ、展覧会の会期・開館時間などを変更させていただく場合があります。ご来館の際には大阪中之島美術館公式ホームページなどで最新の情報をご覧ください。また、ご来館にあたっては、マスクの着用など、感染拡大防止対策にご協力くださいますようお願いいたします。

[チケットの主な販売場所]

大阪中之島美術館公式ホームページ、チケットぴあ(Pコード:686-204)、セブンイレブンの各店舗

EVENT

申込み方法は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

芸術作品を未来につなぐ

—ロートレック作品の保存額装について

講演者:岩井希久子(絵画保存修復家、IWAI ART 保存修復研究所)

日程:10月23日(日) 14:00-15:30

場所:1階ホール 定員:150名

ロートレックとミュシャの遭遇

—その可能性とタイミングを探る

講演者:平井直子(大阪中之島美術館主任学芸員)

日程:11月23日(水・祝) 14:00-15:30

場所:1階ホール 定員:150名

驚きのミュシャ・コレクション

—日本におけるミュシャ・コレクション形成とジリ・ミュシャについて

講演者:尾形寿行(アルフォンス・ミュシャ OGATAコレクション所有者)

日程:12月25日(日) 14:00-15:30

場所:1階ホール 定員:150名

学芸員によるギャラリートーク

日程:12月18日(日) 14:00-15:00 場所:4階展示室

ACCESS

電車・バスでお越しの場合

[電車] 京阪:中之島線 渡辺橋駅(2番出口)より南西へ徒歩約5分

Osaka Metro:四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より西へ徒歩約10分

JR:大阪環状線 福島駅/東西線 新福島駅(2番出口)より南へ徒歩約10分

阪神:福島駅より南へ徒歩約10分

[バス] 大阪シティバス:JR大阪駅前より53号・75号系統で「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約2分

*お帰りのJR大阪駅方面最寄バス停は「渡辺橋」になります。

お車でお越しの場合

[駐車場] 有料駐車場あり(割引サービスはございません。)

*詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。